



依日大衆 十一月廿五日 行四〇 部二五 行一四〇 部二五 行一四〇 部二五

平稅務署管内の 六年度清酒持越高

前年度より減つてゐる 來年度見込高稍々増加

平稅務署では十月一日現在 任による日用品値段は左の 五酒造年度より六酒造年 度への清酒持越高を調査中 であつたが漸く集計が出来 上つた、それによると

五酒造	年度の造石
一	二一七〇石に對し四九五
二	一石の持越で四酒造年度よ
三	り五酒造年度への造石高一
四	九四〇〇石に對する持越八
五	九七三石に對し四〇二石
六	減じてゐる

養蠶實行組合 愈よ全郡的協議へ

八日各町村關係者集合して 郡單位組合の設立促進

郡養蠶同業組合では既報の月未までには郡單位の委系 如く去る七月十五日から實業組合の實現を希望してゐ 施された新法による養蠶の促進のため来る 行組合の設立につき晚秋蠶八日午前九時から平町會 一段落を告げ縣議政選も幸堂に各町村關係者を招き 漸く終つたので郡下一圓に 且り各町村に之が設立協 會を開き郡落單位の實行組 合を組織中であつたが同 平町役場調査、十月一日現 組台の意向では遅くとも今 常時住所不定も亦井村佐

平署管内人力車 車體検査

七日管内二ヶ所 中署では来る七日管内人力 車の中署検査を執行するが 午後六時より平町警察署に 検査場所及時間左の通りで 開催すべく準備中であるが

平町團體事務所脇(午前 九時より)湯本町三國駐 平町團體事務所脇(午前 九時より)湯本町三國駐

鮮人警官に殴られ 全勞大支部へ泣き込む

けふ平署へ出頭事實を陳情

平町材木町居住人オキス は之を問題として取り上げ 徹底的に官憲糾弾をする 同支部ではいきまいてゐる

貧ゆえに縊死

内郷村大字宮宇町内六二新 所實施を前にして大いに 奮闘してゐるが、度々この 對策として團體取 扱ひが最も有効であると 見の一致を見たので去る一 日からこれを實施すること

憎ま 口

郡會と出合 だから田舎には 誰か助はかりが 残る所であらう といふものだらう といふものだらう といふものだらう

簡保解約對策

團體取扱の特典を付す

平郵便局で最近不況に 困窮する各工場社等へ右の 簡保解約の特典を付す 團體取扱の特典を付す

平郵便局の 簡保解約對策

團體取扱の特典を付す

平郵便局で最近不況に 困窮する各工場社等へ右の 簡保解約の特典を付す 團體取扱の特典を付す

下郡城石 店料理洋西 票投氣人

下郡城石 店料理洋西 票投氣人

下郡城石 店料理洋西 票投氣人

下郡城石 店料理洋西 票投氣人

在所前(午後一時より)小 藤善美方同居無職三坂正治 (三)は去月同村諏訪神社 祭禮の難路に紛れ込んで平 町三丁目研師中野井子之松 の袂を切つて現金一圓餘在 中のガマ口を拘つたこと等 覺三日平署に檢舉され餘罪 ある見込で嚴重取調中であ

勝チブス蔓延 の兆あり 本年に入つて廿五名 中町で本年に入つてから 生隔離した勝チブス患者は 十月一日現在で廿五名の多 數に達し、下隔離されてゐ るもの十名あるが昨今氣候 の變り目にあつて同病は益々 蔓延の兆あるので平署及

古物商違反 平町南 町五六古物商南出與三郎(四) は去月平町八幡小路引地 圓五十錢を買ひ受け其筋へ の届出を怠つた廉により古 物商違反として三日平署の 取調を受けた

團體を 構成し集金 事務區を設定するのである がこれら團體十五名以上の 加入者が料金を一つにして 申込んだ場合には保険料の 百分の五を割引するといふ 特典を設けてある

下局小兒保險 成績振はす 平郵便局に於ける小兒保險 の募集成績は開始後三日目 が局長の慰勞會に當つてゐ た關係で去る三日までの加 入数は九十一口でこの掛金 が六十三圓、保険契約高は 一萬八千圓餘に過ぎず第一 日の五十二口加入に比して は今日から大馬力の勧誘 をなすこととなつた

成績が 更に擧らず ために同局に於ける保険契 約口数は昨年から一萬六千 台を前例して例の健康相談 所實施を前にして大いに 奮闘してゐるが、度々この 對策として團體取 扱ひが最も有効であると 見の一致を見たので去る一 日からこれを實施すること

下郡城石 店料理洋西 票投氣人

下郡城石 店料理洋西 票投氣人

下郡城石 店料理洋西 票投氣人

下郡城石 店料理洋西 票投氣人

下郡城石 店料理洋西 票投氣人

下郡城石 店料理洋西 票投氣人

下郡城石 店料理洋西 票投氣人

下郡城石 店料理洋西 票投氣人

